

放生津大火、湊橋が建設される	文政4年	1821		兵庫の豪商・北風荘衛門の沖頭となる
西日本で日本で最初のコレラが確認される 町人、農民が名代を立てず渡海船を所有できる こととなる	文政5年	1822	斉泰	
加賀藩、水主の他国稼ぎを禁止 幕府の蝦夷直轄終了、松前藩へ	文政6年	1823		
高岡、加賀藩より綿取引の独占権を得る	文政7年	1824		
	文政8年	1825		高岡井林屋から養子を迎える
密貿易摘発、油屋七兵衛家財没収 富山藩、木綿を江戸へ直送	文政11年	1828		
		1830		北海道へ進出
銭屋五兵衛御手船裁許	天保5年	1834		
	天保9年	1838		9代、巡見上使様の本陣亭主を行う
		1840		9代、町年寄、漁業主、勝手方御調達御用、新 田裁許となる
船頭、水主に自国稼ぎを申し渡す 水主取締人を浦々に置く	天保13年	1842		
	天保14年	1843		御かね裁許、御郡御奉行所直支配被仰付、射水 郡新田裁許列被仰付 9代逝去
	弘化2年	1845		10代、射水郡放生津両町萬造方、人撰方、漁 業方裁許、十村同様勤向被仰付、その他、御場 御勝手方、御調達御用ならびに札尻方引替所御 用被仰付、時々、道服、紬等拝領被仰付 年賀等御目見被許、 12代誕生
藤井能三誕生	弘化3年	1846		
廻船問屋を中心とした仕組みの見直しが議論さ れる	弘化4年	1847		
幕府、諸藩に沿岸警備を厳重に行うよう命ず 加賀藩、放生津台場設置	嘉永2年 嘉永3年	1849 1850		11代、巡見上使様中休御本陣となり造作を行う 13代誕生（分家より後に養子に入る 和船7隻所有 12代5歳で夭逝
伏木と生地に台場設置	嘉永4年	1851		
銭屋五兵衛 獄死	嘉永5年	1852		
ペリー来航 銭屋五兵衛、河北潟干拓水質汚染事件	嘉永6年	1853		
日米和親条約	安政1年	1854		11代、苗字御免仰付願を出す
パリ万博 長崎海軍伝習所開設	安政2年	1855		
安政の大災害 外国奉行織部正堀利熙北陸巡視 放生津海岸測量 日米修好通商条約 長崎寄港のアメリカ船からコレラ大流行	安政5年	1858		米の高騰により放生津新町の屋敷が打ちこわし に遭う
	安政6年	1859		三日曾根への新築願いを出す (棟梁：高瀬輔太郎)
ロンドン万博 コレラ東日本大流行	文久2年	1862		三日曾根村移住に付分限割等指除の了解 三日曾根へ引越す
高瀬輔太郎、放生津八幡宮を再建	文久3年	1863		
前田尉子姫誕生	元治元年	1864		10代逝去
加賀藩、移入品大幅緩和	慶応1年	1865		13代放生津新町の分家より養子に入る
前田慶寧 第13代加賀藩主となる (最後の加賀藩主)	慶応2年	1866	慶寧	
大政奉還	慶応3年	1867		
放生津に初代堀切橋が架かる	明治2年	1869		13代、金沢為替会社設立を促される
廃藩置県により金沢県となる(7月) 七尾県となる(11月) 岩倉使節団	明治4年	1871		前田尉子姫をお預かりする 金沢為替会社設立 13代 棟取7名に名を連ねる
新川県となる 富岡製糸場開業 学制公布 新橋～横浜間鉄道開通	明治5年	1872		
地租改正	明治6年	1873		
江華島事件	明治8年	1875		三菱汽船の代理店となり2隻の汽船購入。三菱 汽船誘致にともない藤井能三宅とともに三日三 晩の乱暴を受ける